

ふれあいネットワーク

あいちの ふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
名古屋市東区白壁一丁目50番地
☎(052)212-5500
編集発行人 吉田 和裕
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/>

2023.08
no.508

- 令和5年度事業計画(概要)・基本方針・予算 .. 02・03
■ 令和4年度事業報告(概要)・決算 04・05

特集 令和5年梅雨前線による大雨及び台風2号による愛知県内の被害状況

福祉の保険 06・07

■ 各地の社協を訪ねて 08

■ 民生児童部だより 09

■ 施設紹介 10

■ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

受講のご案内 11

■ 福祉生きがいセンターだより 12

■ 障害者スポーツ振興センターだより 13

■ 令和5年度組織機構図、新役員紹介 14

■ 愛知県共同募金会だより 15

■ 第37回ふれあいフォトコンクール作品募集!

「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」販売の申込受付
ご寄付に感謝 16

コロナ禍をきっかけに、大きな声での会話を控え、との接触を避けることを心掛けるなど他者とのコミュニケーションの手段に大きな変化がありました。ファミレスでは配膳ロボットが料理を運び、スーパーやコンビニではセルフレジが次々と導入されています。

労働力の機械化が進み、生活の利便性が高まる一方で、私たちにとって大切なものが浮き彫りになってしまった。それは、機械には決して代替できない『心のある人間力』です。

教育や福祉の世界を中心に『音読』を楽しむ方が増えています。文字を声に出して読む

一般社団法人 日本朗読検定協会 理事

池上あきこ

ことはそれだけでもとても良いことですが、更に人間力を高める手段としてお薦めしたいのが『朗読』です。ひとりでもできる音読とは違い、朗読には聞き手が介在し、聞き手に文章の内容を伝える意図があります。難しい書籍を読む必要はなく、気軽に読めるもので構いません。好きな歌の歌詞を朗読してみるのも良いでしょう。大切なのは聴いてくれる人を意識し、伝えようとする気持ちです。

あなたも今日から、朗読で人間力をアップさせてみませんか。



令和5年度事業計画（概要）・基本方針・予算

■事業計画（概要）

経済格差などに伴う貧困問題の深刻化、家族や地域社会の絆の希薄化など、社会・経済情勢の変化に伴い福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、新型コロナウイルス感染症が社会に与える影響も加わり、福祉課題は一層複雑・多様化している。

そのため共生・共創のまちづくりの実現に向けた地域福祉推進の基盤強化、生活困窮者の自立支援、福祉サービスを十分に提供できる福祉人材の確保・育成・定着、福祉サービスの質の確保や福祉分野の各種の制度見直しへの対応は喫緊の課題である。

また、「超少子高齢・人口減少社会」「人生100年時代」といわれ、誰もが生涯を通して、「安心・安全・心豊かに暮らせる社会（持続可能で多様性と包摂性のある社会・地域共生社会）」が実感できるように、20・30年先の社会の姿を見据えた活動に取り組む必要がある。

さらに、毎年のように全国各地で自然災害が相次いでおり、近い将来発生が懸念されている南海トロース地震等を含む様々な災害」備え、平時から多様な連携を行うことができる総合的な災害福祉支援ネットワークの整備構築が必要である。

こうした中、本会は地域福祉を推進する中核的な組織として一層の体制強化を図ることを、「市町村社会・社会福祉施設をはじめ、福祉関係機関・団体、行政、ボランティア・市民活動団体やマスコミ・関係団体の方々と連携・交流の更なる活発化に努め、引き続き「県社協第5次中期計画2022-2026」に掲げる6つの「新たな風」を基本方針として諸事業を実施するとともに、常に利用者に寄り添った「温かみのある福祉の視点」に立ち、本会の基本理念である「あい・か・く・し（あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい）」の実現を図ることとする。

I 地域で普通に暮らせる社会（地域福祉）づくり

地域共生社会の実現に向けて地域福祉を重層的に推進するため、市町村社協が地域における包括的な支援体制づくりにおいて中核的な役割を果たすことができるよう、専門性を有した職員の養成等、**地域福祉の基盤強化**に向けた取組を支援する。併せて、地域におけるインフォーマル活動や拠点づくりなど、住民が主体的に取り組む新たな福祉サービスの提供ができるよう、団塊世代、大学生、青少年等に対するボランティア・市民活動への参加及び企業等の社会貢献活動の促進、地域・学校・社協との連携による福祉教育を一層支援する。

また、子どもをとりまく課題が複雑化・複合化するなか、子どもが、安全で安心して過ごせ

II 社会福祉法人・社会福祉施設等への支援強化

地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人・社会福祉施設が主導的な役割を果たしていくために、**地域における公益的な取組**や社会福祉充実残額による地域公益事業について、地域や住民の福祉課題・生活課題などを把握し、地域の実情に応じて、すべての社会福祉法人が取り組むことができるよう引き続き実態把握に努めるとともに、先駆的取組事例の紹介や法人間・施設間の地域連携による事業等の支援を行い、県民の社会福祉法人への理解と信頼の獲得を図る。また、高齢・障害・児童等の各福祉分野の基盤となる制度見直しや規制緩和に向けた対応をはじめ、急激な物価高騰などの社会環境の変化に対応した福祉サービスの提供体制のあり方などに関する必要な情報提供や研修等を実施するとともに、福祉施策の調査研究の強化を行い、県への提言・要望活動を実施する。

さらに、福祉サービスの質の向上を推進し、利用者の適切なサービスの選択に資するため、福祉サービス第三者評価事業の促進を図る。

III 福祉人材（担い手）の確保・育成・定着

福祉・介護ニーズが複雑化・高度化する中、福祉人材の安定的確保・育成・定着を総合的に継続的に推進し、質の高いサービスを提供することが求められているため、**福祉人材無料職業紹介機能強化**を図るとともに、ハローワーク等との連携を推進し、求人・求職相談の実施、福祉・介護の就職総合フェアの開催、資格取得や就職支援のための返還免除付き貸付事業の拡充など



により、福祉人材の確保・定着を図る。

また、関係者の協力を得て、介護福祉士等の届出制度の周知を促進し、離職した有資格者や就業していない有資格者の再就職・就職の支援を図る。

さらに、社会福祉関係職員研修等の充実を図ることにより、福祉・介護等ニーズに適応できる人材の育成を推進するとともに、福祉の仕事に対する正しい理解と重要性を広めるため、効果的な広報戦略を展開し、“愛知から福祉の輝き”を広く社会に発信することに努める。

IV 暮らしを災害から守るために災害時福祉支援活動の推進

昨今の度重なる広域的・多発的な自然災害の発生により、これまで以上に大規模災害を想定した対策が求められているため、市町村社協や社会福祉施設における事業継続計画（BCP）の策定を支援し災害に強い組織体制の構築を図るとともに、過去の大規模災害における被災地支援を検証し、社協・行政・NPO等の連携による災害福祉支援ネットワークの整備の推進や実践的に活動するための知識・技能の充実を図る。

また、引き続き、新型コロナウイルス感染症などを踏まえたリスクマネジメントの推進に取り組み、事業継続に向けた危機管理体制の強化を図る。

V 高齢者の生きがいと健康づくり、障害者スポーツの推進

活力あふれる長寿社会の実現に向け、高齢者の生きがいや健康づくりの推進及び、地域社会活動への参加促進を図るため、**あいちシルバーカレッジ**を充実し、高齢者の学習意欲の助長、仲間づくりやボランティア活動などの促進を図るとともに、各種社会参加活動の中核となる人材養成、地域における多世代交流の支援に努める。併せて、全国健康福祉祭への選手派遣を継続的に実施する。

また、障害者スポーツを推進し、障害のある人の自立と社会参加を促進するため、障害者が身近な場所でスポーツ活動に参加することができるよう情報の提供に努めるとともに、指導員の養成・確保を図る。併せて、**県障害者スポーツ大会等の開催や全国障害者スポーツ大会への選手派遣**を実施するとともに、愛知・名古屋2026アジアアーバン競技大会や、2025東京デフリンピックの開催決定など、広く障害者スポーツへの関心の高まりを受け、トップアスリートによる講演や実技指導を実施し、障害者スポーツ参加者の裾野拡大を図る。

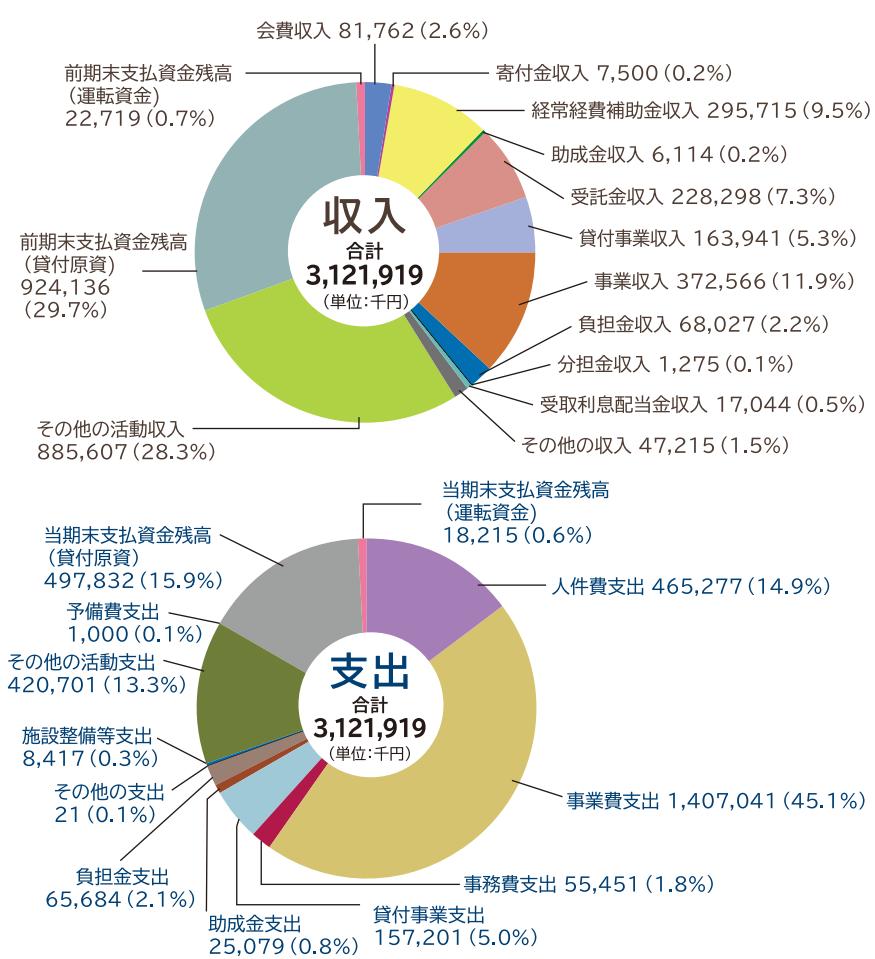
VI 愛知県社協の経営強化と働き方改革

地域福祉を推進する中核的な組織として、信頼される法人組織の運営・持続可能な組織づくりを図るため、内部管理体制の基本方針に沿った法人組織の一層の強化や市町村社協とのさらなる連携強化に取り組むとともに、独自事業の活性化を図る。

また、「県社協職員行動原則」を徹底し、コンプライアンス意識の向上を図るとともに、中長期的な職員研修計画により職責に応じた人材育成を計画的に進める。併せて、風通しの良い組織になるよう、活力のある職場づくりや職員のワークライフバランスを推進する。

予算 一般会計資金収支予算

(単位:千円)



令和4年度事業報告（概要）・決算



本会の基本理念である「あ・い・ち・ふ・く・し（あんしんして・いきじきと・ちいきで・ふつう」・「うせぬ・しゃかし」」の実現に向け、「県社協第5次中期計画2022-2026」に掲げた6つの「新たな風」を基本方針として、市区町村・社会福祉施設をはじめ、民生委員・児童委員・福祉関係機関・団体・行政、ボランティア・市民活動団体やマスコミ・関係団体と連携・協働し、12の重点事業を中心とした各種事業を実施した。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大と収束を繰り返す中で、オンラインを活用した会議、研修の開催等によりコロナ禍に合わせた事業の展開を図るとともに、「超少子高齢・人口減少・社会」「人生百年時代」と言われる中、誰もが生涯を通して、「安心・安全・心豊かに暮らせる社会（持続可能で多様性と包摂性のある社会・地域共生社会）」が実感できるよう、20年・30年先の社会の姿を見据えた活動に努めた。

なお、基本方針とともに、令和4年度実施した事業の概要は、以下のとおりである。

I 地域で普通に暮らせる社会（地域福祉）づくり

地域共生社会の実現に向けて地域福祉を重層的に推進するため、地域における包括的な支援体制づくりにおいて市町村・協議会が中核的役割を果たすことができるよう、**地域福祉の基盤強化**に向けた取組を支援するほか、社会的排除・孤立、生活困窮者など福祉課題や生活課題のある人を早期把握し、脱却を図るために、地域における個別支援ネットワークの構築や生活困窮者自立支援制度の利用推進、既存制度では対応できない柔軟な社会資源の創出に向けた各種研修会の開催及び情報提供を行った。併せて、地域におけるインフォーマル活動や拠点づくり等、住民が主体的に取り組む新たな福祉サービスの提供ができるよう、団塊

世代や大学生、青少年等に対するボランティア・市民活動への参加や企業等の社会貢献活動の促進、地域・学校・社協との連携による福祉教育を推進した。

生活困窮者自立支援制度のさらなる利用を図り、特に生活困窮世帯の子どもへの支援強化として、関係諸団体・機関と連携し、子どもの居場所となる子ども食堂の開設・運営や子どもの学習・生活支援を推進したほか、生活困窮者自立支援事業の実施主体との連携や支援に関する情報共有を深めることにより、セーフティネット対策の一つである**生活福祉資金貸付事業の充実**を図った。特に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付において、交付を速やかに進めるとともに、償還事務を適切かつ効率的に進めるために設置した「特例貸付償還事務センター」を運営し、生活困窮世帯の生活の立て直しを図った。

また、第91回全国民生委員・児童委員大会「愛知大会」を開催し、地域住民の身近な相談相

手である民生委員・児童委員、主任児童委員の日頃の相談援助活動のより一層の推進と発展を図った。

さらに、福祉サービス利用者の利益を保護するため、地域における日常生活自立支援事業の拡充を進めるとともに、**権利擁護としての成年後見制度の推進を支援**し、総合的な権利擁護体制の構築を図った。

II 社会福祉法人・施設等への支援強化

地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人・社会福祉施設が主導的な役割を果たしていくために、**地域における公益的な取組**や社会福祉充実残額による地域公益事業について、地域や住民の福祉課題・生活課題などを把握し、地域の実情に応じて、すべての社会福祉法人が取り組むことができるよう実態把握に努めるとともに、先駆的取組事例の紹介や法人間・施設間の地域連携による事業等の支援を行い、県民の社会福祉法人への理解と信頼の獲得を図った。

また、高齢・障害・児童等の各福祉分野の基盤となる制度見直しや規制緩和に向けた対応をはじめ、コロナ禍における福祉サービスの提供体制のあり方などに関する必要な情報提供や研修等を実施するとともに、諸物価高騰に対する緊急支援要望をはじめ、県内福祉関係者の要望を取りまとめ、国・県等への提言・要望活動を実施した。

さらに、福祉サービスの質の向上を推進するため、福祉サービス第三者評価事業の普及・促進に努めた。

III 福祉人材（担い手）の確保・育成・定着

福祉・介護ニーズが複雑化・高度化する中で、福祉人材の安定的確保・育成・定着を総合的・継続的に推進し、質の高いサービスを提供することが求められているため、**福祉人材無料職業紹介所等の利用促進**を図るとともに、ハローワーク等との連携を強化し、求人・求職相談の実施、福祉・介護の就職総合フェアの開催、資格取得や就職支援のための返還免除付き貸付事業の拡充などにより、福祉人材の確保・定着を図った。

さらに、社会福祉関係職員研修等の充実を図ることにより、福祉・介護ニーズに適応でき る人材の育成を推進するとともに、福祉の仕事に対する正しい理解と重要性を広めるため、効果的な広報戦略を展開し、「愛知から福祉の輝き」を広く社会に発信することに努めた。

IV

暮らしを災害から守るための災害時福祉支援活動の推進

度重なる地域的・多発的な自然災害の発生により、これまで以上に大規模災害への対策が求められる中、災害ボランティアセンター運営に関わる情報共有等を効率的に進め、情報通信技術（ICT）を活用した「あいち災害ボランティアセンター運営システム」の導入や、災害時に災害ボランティア情報報を発信する「愛知県災害ボランティア情報報」ホームページを作成するとともに、市町村社協や社会福祉施設における事業継続計画（BCP）の策定支援を行い、「災害に強い組織体制の構築」を図った。

さらに、過去の大規模災害における被災地支援のあり方を検証し、社協・行政・NPO等の三者連携による災害福祉支援ネットワークの整備や実践的に活動するための知識・技能の充実を図った。

V 高齢者の生きがいと健康づくり、障害者スポーツの推進

高齢者に学びの機会を提供する「あいちシルバーカレッジ」の開催と、全国健康福祉祭奈川・横浜・川崎・相模原大会への選手派遣等により、高齢者の生きがい・健康づくりの推進や地域社会活動の参加促進を図るとともに、同力レッジの卒業生を対象とした専門講座を実施することで、地域での社会活動につなげ、地域で活躍する人材を養成した。

また、県障害者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツとちぎ大会への選手派遣等、障害のある人の自立と社会参加を促進するため、障害者が身近な場所でスポーツ活動に参加することができるよう情報提供を行うとともに、若手人材の育成や指導員活動のリ・スタート支援等の実施により指導員の養成・確保を図った。

さらに、東京2020パラリンピックの開催による障害者スポーツへの関心の高まりを受け、パラリンピアンなどのトップアスリートによる講演や実技指導を交えた障害者スポーツの体験・ふれあい交流事業の実施により、障害者スポーツ参加者の裾野拡大、障害への理解促進を図った。

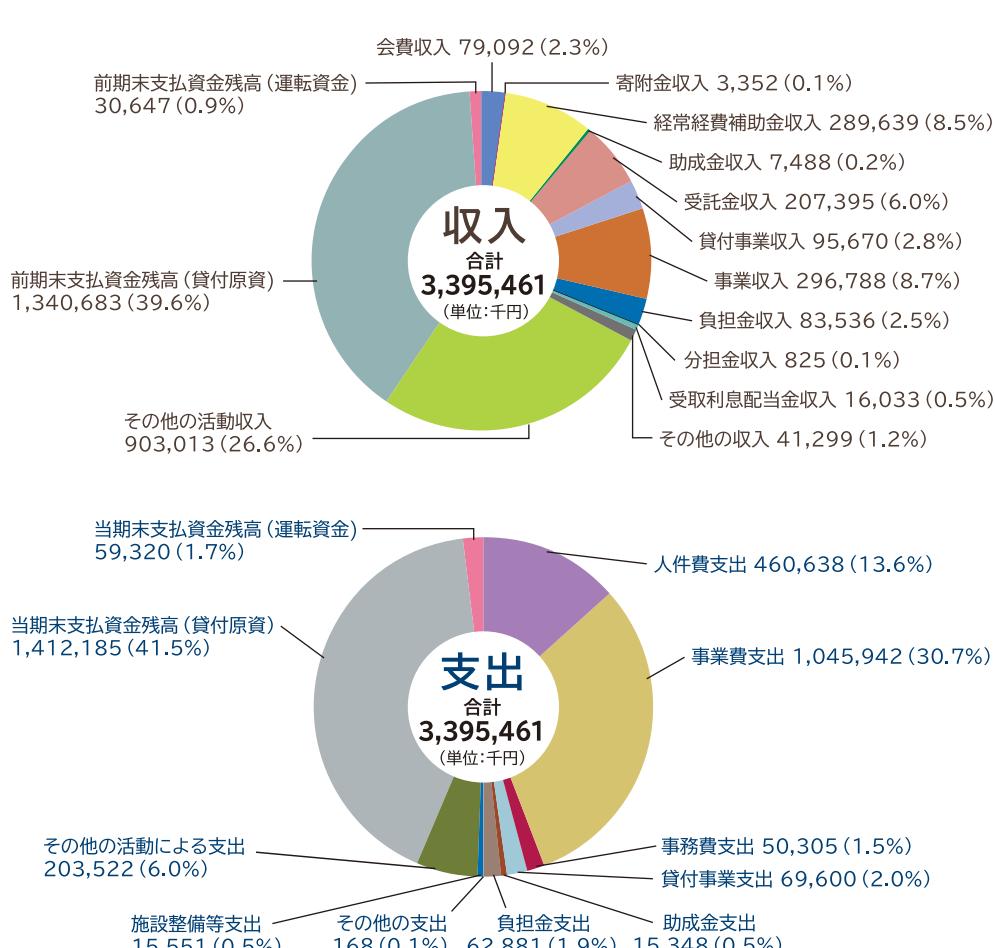
VI 愛知県社協の経営強化と働き方改革

地域福祉を推進する中核的な組織として、本会が信頼される法人組織運営を行ったため、「愛知県社協職員行動原則」を策定し、県社協職員としての自覚と心構えを身に付けるとともに、市町村社協からの苦情等を受ける外部通報窓口の設置により組織運営の透明性を強化することで、法人組織の内部管理体制の一層の強化に取り組み、業務の効果的・効率的かつ適正な遂行に努めた。

また、職員に求められる専門性とコンプライアンス意識の向上のため、中長期的な職員研修計画を策定し、職責に応じた計画的な人材育成を構築するとともに、コンプライアンス

研修や県尾張福祉相談センターへの派遣の実施により現場感覚の醸成に努めた。併せて、職員が安心して働き続けられる職場づくりに努めるため、風通しの良い組織になるよう機動的な組織の見直しを図るとともに、職員のワークライフバランスを推進した。

決算 一般会計資金収支決算



令和5年梅雨前線による大雨及び台風2号による愛知県内の被害状況



2023年6月2日から3日にかけて、大型の台風2号の影響により線状降水帯が発生するなど大雨が続き、全国各地で土砂災害や河川の増水・氾濫による被害が相次ぎました。

愛知県においても広い範囲で被害があり、特に豊橋市や豊川市、岡崎市で浸水した家屋が多数発生しました。

今回の特集では、県内で設置された災害ボランティアセンターの状況や、本会の活動の経過、昨年度から県内市町村社協に導入した「あいち災害ボランティアセンター運営システム」について記していきます。

◆広範囲に被害をもたらした台風2号と線状降水帯

台風の接近に伴い、鉄道やバスなどの公共交通機関は、安全確保のため一時的に運休や運行制限が相次ぎました。

これにより、多くの人々が支障をきたし、予定されていたイベントや會議も中止または延期となつたものもありました。

また、翌日¹にかけても大雨が続き、各地で浸水被害や土砂崩れなどが発生しました。特に河川の氾濫による水害が深刻であり、住民の安全確保や避難が急務となりました。自治体や関係機関は迅速に対応し、避難所の開設や救援

活動が行われ、被災地域では現在復旧作業が続いているところもあります。

愛知県では、6月3日に岡崎市、6月7日に豊橋市において災害ボランティアセンターが設置され、ボランティア要望の受付とボランティアの募集（市内在住者に限る）が行われました。

また、豊川市では通常のボランティアセンターにおいてボランティア活動の調整が行われ、6月30日に災害ボランティアセンターが設置されました。

ボランティア活動は、主に床下の泥出しや家財の搬出などですが、床下の水の除去は乾燥も含めると時間がかかり、また、床材を剥がさなければなら

◆愛知県における復旧支援活動



ない場合もあり、専門的な知識が必要な作業が要望の中に多数あったことを受けて、職能NPOが豊川市内を中心

に活動しています。



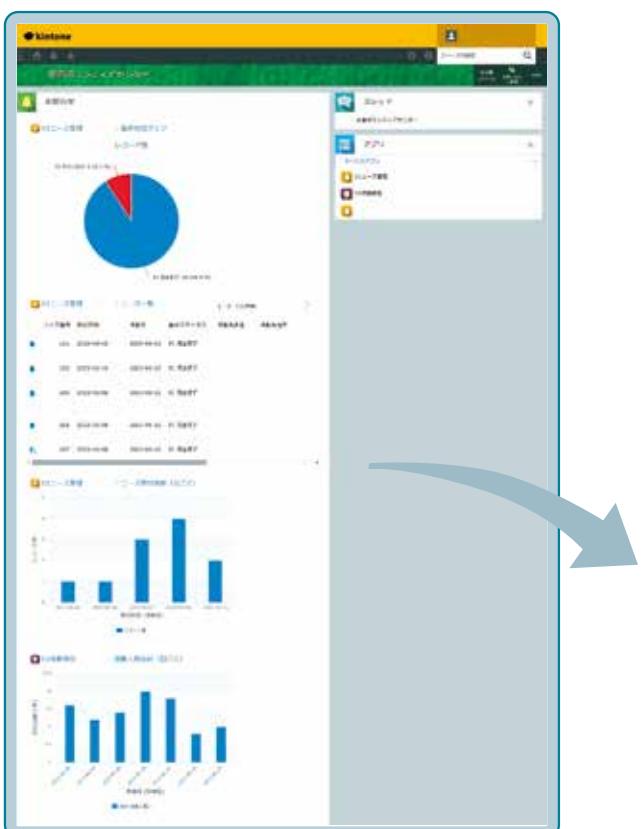
◆「あいち災害ボランティアセンター運営システム」の運用

災害時に被災者に寄り添った支援ができるよう、災害ボランティアセンターの運営の効率化を図るとともに、社協間の福祉支援活動における情報ネットワークを構築するため、愛知県内の全市区町村社協を対象に、ICTを活用した「あいち災害ボランティアセンター運営システム」（以降「運営システム」）を令和4年度から導入しました。

運営システムは、サイボウズ株式会社が提供している、WEBデータベース型の業務アプリ構築クラウドサービスの「kintone（キントーン）」を使用して作成したアプリケーションで、これまで災害ボランティアにおいて困難であったボランティア数の事前把握や、ボランティア登録のペーパーレス化、ボランティアーズのクラウド管理を可能にするものです。

このたびの災害では、各災害ボランティアセンターで運営システムの「ニーズ管理アプリケーション」を使用し、受け付けたニーズを迅速に共有することができ、また各ニーズの進捗状況を一覧

により把握することができるなど、ニーズ管理の効率化が図られました。運営システムは、昨年度から各市区町村社協へ周知し、具体的な使用方法の研修を行う等の準備をしてきました。今後は、災害が発生した際に、迅速に運営システムを使用することができるように、各市区町村社協へ事前配備を進めていく予定です。



▲災害ボランティアセンター運営システム「kintone」外観

県内災害ボランティアセンター

ニーズ受付数及びボランティア活動人数(いずれも延数)

	ニーズ件数	ボランティア活動人数
豊橋市	13件	44人
岡崎市	102件	464人
豊川市	49件	149人

(令和5年6月20日現在)

Q&A 福祉の保険 「ボランティア活動保険」

Q 地震や豪雨で被害に遭われた地域にボランティア活動に行きたいと思います。ボランティア活動保険の通常の手続きと異なる点はありますか？

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

A 災害救助法が適用されるような規模の災害の場合は、大規模災害時特例の取り扱いとなり、保険加入申し込み時から即時補償開始となります。

また、地震災害のボランティア活動には天災プラン（ボランティア活動中の地震・噴火・津波によるケガを補償）の加入をお勧めしています。

取扱代理店 **株ニュータス**
TEL.0120-258-517

引受保険会社 **三井住友海上火災保険（株）**
TEL.052-223-4172

各地の
社協を
訪ねて



『地域共生型福祉施設あつぽ』 あなたも家族の一員向こう二軒両隣



各地の
社協を
訪ねて

『地域共生型福祉施設あつぽ』 ～あなたも家族の一員向こう三軒両隣共

高浜市社会福祉協議会

高浜市には「あつぼ」といつ、ちよつと変わった名前の施設があります。「あつぼ」は、「」の方言で「帽子」という意味だそうです。帽子をかぶつて、お散歩に出掛けましょっという想いが込められた宅老所の名前を元き繼いでいます。

所が欲しい」との声もありました。
そこで、高浜市社会福祉協議会では、子どもから高齢者まで「『』ちゃん、混ぜ」で利用でき、地域の財になるような施設を作ろうとの想いから、平成28年6月に認知症グループホームを併設

下施設）を立ち上げました。

さて、平成25年頃の高浜市内には、認知症グループホームは2施設しかなく、待機者も多くお断りをしている状況でした。また、地域から「集会場の場

住者が生活する場だけではなく、地域交流スペースとして、地域の方が自由に使える「多目的広場」、リラックスしておしゃべりができる「足湯・囲炉

だけではなく、地域の子どもから高齢者まで誰もが安心して気軽に利用できる居場所です。

て地域の方同士の交流が絶えない場所になつております。居住者も地域の方となじみの関係を築いています。

地域や、ボランティアなど多くの方に支えられ、施設も今年で7年目を迎えることができました。これからも、地域と共に生きて共に暮らせるよう、地域の方との信頼関係を大切にしていきます。



▲足湯をしながら楽しくおしゃべり



▲子どもと高齢者のふれあいタイム

「裏」、子育てをサポートする「子育て支援センター」。地域福祉スペースとして、元気な高齢者が、楽しいひと時を過ごす「ふれあいサロンあつぼ（宅老所）」、総合事業の「通所型サービス」、認知症力エである「よってこ力」、地域の方たちがシェフの「力」フルレストランあっぽがあり、居住者

施設の畠では、居住者だけでなく、地域の方も草取りや野菜の世話をしてくれています。また「世の中、物騒だから」と施設内の扉に防犯用のカギを付けてくださったりと、日常の困りごとも地域の方と一緒にになって解決をしています。地域のたくさんの方が施設を行き来していくなり、施設を介して



▲いろんな世代の笑顔の場

生活福祉資金貸付制度「緊急小口資金の『』案内」

社会福祉協議会では、所得の少ない世帯、障害者や介護を要する高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を実施しています。

この生活福祉資金貸付制度は、世帯の自立を支援する制度です。社会福祉協議会以外にも民生委員や自立相談支援機関、福祉事務所等の他機関と連携して生活の安定と自立が図れるよう支援しています。

今回はその中の一つである「緊急小口資金」についてご紹介します。緊急小口資金は、制度要綱に定められた次の理由により、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となつた世帯へ10万円を限度に貸付ける制度です。

貸付対象理由

- (1) 医療費又は介護費の支払等臨時の生活費が必要なとき

緊急小口資金をはじめとする生活福祉資金貸付制度の各資金のお申込み

- (2) 火災等の被災によって生活費が必要なとき

- (3) 年金、保険、公的給付等の支給開始までに生活費が必要なとき

- (4) 会社からの解雇、休業等による収入減のため生活費が必要なとき

- (5) 滞納していた税金、国民健康保険料、年金保険料の支払いにより支出が増加したとき

- (6) 公共料金の滞納により日常生活に支障が生じるとき

- (7) 法に基づく支援や実施機関及び関係機関からの継続的な支援を受けるために経費が必要なとき

- (8) 給与等の盗難によって生活費が必要なとき

- (9) その他これらと同等のやむを得ない事由があつて、緊急性、必要性が高いと認められるとき

相談・貸付～返済(償還)までの流れ

緊急小口資金の場合

最短でも5日(営業日)かかります



は、お住いの市区町村の社会福祉協議会が窓口となります。貸付内容や条件、お申込みの際に必要な書類等については、愛知県社会福祉協議会のホームページでご覧ください。

ムページ（下記URL）からご覧いただけますので、お困りの際にはぜひご覧ください。

上記は自立相談支援機関との標準的な連携パターンを掲載したもので、生活再建までの間、自立相談支援機関と必要に応じた連携を行います。



社会福祉法人福寿園 複合福祉施設 木田の里

複合福祉施設 木田の里

施設長
吉井 覚

「全世代型共生社会へ 福寿園ネクストステージの挑戦」

令和5年4月、名鉄太田川駅から徒歩10分の東海市中心部に『木田の里』を開設しました。就労継続支援センターA型、同B型、高齢者デイサービスセンター、保育所、児童発達支援事業、放課後等デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅の7つの事業からなる複合福祉施設です。

社会を目指し、福寿園スクストステージの大きな挑戦と位置づけ、3年間の準備期間を経てこの施設の開設となりました。

設置主体である社会福祉法人福寿園は、今年で創立43年目を迎える法人で、愛知県内に特別養護老人ホームを中心とし、事業を展開しています。3年に20拠点で、前に創立40周年を迎えたのを機に、子どもから高齢者までの全世代型の共生

一番目立つのは本館で、メインの事業は、木田の里就労継続支援センターです。1階は就労A型で、『本格製麺つる福』と『リハビリサービスふく福』を運営しています。温浴施設の受付や、うどん屋での接客や調理が仕事内容です。2階は就労B型の運営する『福寿の湯』で、6つのお風呂とサウナが楽しめ

る本格的な温浴施設です。タオル類の洗濯、掃除やシャンプー等の準備が主な仕事内容です。お客様に支払っていただいた料金が、ここで働く障がい者の賃金（工賃）となつて、自立した生活を目指す手助けとなります。3階は高齢者のデイサービスセンターで、介護保険事業と介護予防・日常生活総合事業を実施し、最新のリハビリ機器を導入した事業所です。

成長していく
お手伝いを
しています。

の里』です。高齢者に安心して生活できるお住まいを提供します。福寿の湯の入居者割引や本格製麺つる福からのお弁当の配達など、複合福祉施設をいかしたサービスもあります。

【きだつこえん めばえ】



【福寿の湯 露天】



【デイサービス】



【ディサービス】



【福寿の湯 露天】

アーチー＝カービー

運営です。2階には、小学校一年生から高校3年生を対象にした『放課後等デイサービス』が、だっこ』と『1歳児から6歳児を対象にした『児童発達支援きだっこ』の2つの事業があります。それをお子さんが健やかに

の」とも多くありますが、「この地に」の施設ができて良かつたと、利用者の皆様や地域の皆様に感じていただけるよう前向きに楽しみながら取り組んでいます。東海市近隣にお越しの際は、「お気軽に福寿の湯にお立ち寄りください。あつたかいお風呂と美味しいごはんで癒しの時間をお楽しみください」と。



【北西面全館外觀】



福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 受講のご案内 福祉人材センター

研修の目的

この研修は、福祉の専門研修と一線を画し、福祉分野の垣根を超えた、総合的、標準的なプログラムとなつており、福祉職員が自らの歩んできた道のりを振り返りながら、新たな知識の習得や体験の共有を行います。その上で、改めて自分像を描き職業人生の意味を深め、その価値を高めることを通じて、働き続ける力と地域で信頼される福祉職員像を身につけ、ひいては、所属事業所における福祉サービスの向上と、経営基盤の強化につなぐことをねらいとしています。

研修の特徴

研修プログラムは、管理職員、チームリーダー、中堅職員、初任者の4つの課程に分かれています。各々の体験を持ち寄って交流しながら、それぞれの階層に求められる役割行動を理解し、自身のキャリアアーティザンを描きます。

愛知県社会福祉協議会では、愛知県の「福祉」と「福祉人材」の、より一層の発展をめざし、この研修課程を実施しています。社会福祉法人、民間福祉事業者、福祉職員の皆さんと、分野の垣根を越えて協働し、この研修を創り上げ、希望ある魅力的な職場づくりと、誇り高き福祉人材の養成に寄与したいと願っています。

法人経営者や施設長の皆さんとの理解と協力のもと、福祉職員の皆さんへの受講を心よりお待ちしています。

階層	初任者	中堅職員	チームリーダー	管理職員
役職例	職員（新任）	職員	係長・主任	部門管理者（課長）
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■指導教育を受けつつ業務遂行 ■人間関係の理解、自己目標の設定 ■ルールやマナーの理解と遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ■役割の理解、担当業務の遂行 ■後輩を育てる視点での助言指導 ■専門知識技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■チーム目標の設定、課題解決 ■知識や技術での同僚・後輩のモデル ■スーパーバイザー 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務遂行責任 ■部門業務の円滑な遂行 ■組織強化とサービス向上

研修のご案内（受講申込はこちらから）

https://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/career/career_annai.html



せっかくの、資格。

介護の仕事から一度離れても、再び介護の仕事で活躍できるように、様々なサポートを受けられる「届出制度」。介護福祉士等の資格をお持ちの方は、福祉人材センターへの「届出」をお願いします。



介護福祉士等の資格をお持ちの皆さんへ



登録をすると、復職支援のための求人紹介・技術研修などのサポートあり。

- 1 最新情報をお届け
- 2 知識・技術の再習得研修や職場体験
- 3 福祉人材センターがきめ細かに対応

登録は
こちらから

せっかくの、資格

検索



全国社会福祉協議会・中央福祉人材センター・愛知県社会福祉協議会福祉人材センター

お問合せ先

研修部(キャリアパス研修)
人材養成部(せっかくの、資格)

☎ 052-212-5516
☎ 052-212-5519



福祉生きがいセンターだより

●ねんりんピックはばたけ鳥取2024 マラソン交流大会・ウォークラリー交流大会の選手選考会 参加者募集について

「ねんりんピック」の愛称で親しまれていた「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心とするゲートボールや卓球、テニスなどの各種スポーツ競技や音楽文化祭などの文化イベントなど、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典です。

ねんりんピックは、高齢者を中心と



■ねんりんピック愛顔のえひめ2023 選手選考会の様子

する国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的として、厚生省（現：厚生労働省）創立50周年を記念して昭和63（1988）年にスタートしました。

令和5年度は愛媛県、令和6年度は鳥取県で開催予定です。

今回は、来年の鳥取大会のマラソン交流大会とウォークラリー交流大会に派遣する選手を選考します。

- ◆5周コース上位者
- ねんりん3キロコース代表
- ◆5周コース次位者
- ねんりん10キロコース代表

【選手選考会の内容】

- マラソン交流大会（80人募集）

・いのちの池3周コース
(約3・5キロ)

・いのちの池5周コース
(約5・8キロ)

- ◆3周コース上位者（70歳以上優先）
→ねんりん3キロコース代表

http://aichoju.ec-net.jp/

●応募締切

令和5年8月31日（木）
(当日消印有効)
※申込多数の場合には、先着順とします。
申込者に9月中旬に案内を通知します。
※荒天中止の場合は、応募者のなか
から抽選で選考します。

- ◆5周コース代表
- ねんりん5キロコース代表

令和5年8月31日（木）
(当日消印有効)

◇参加対象：愛知県在住（名古屋市以外）で令和7年4月1日時点まで60歳以上である人。ねんりんピック愛顔のえひめ2023にマラソン選手として参加される方を除く。

あいち健康の森公園大芝生広場

（大府市・知多郡東浦町）

（知多バスでJR大府駅西口
乗車約12分、あいち健康プラザ

（20チーム募集）
下車）

愛知県在住（名古屋市以外）で、
令和7年4月1日時点で60歳以

参加費 無料

●応募方法

募集案内ちらしを、県内各市町村社会福祉協議会、各市町村高齢福祉担当窓口へ配布しています。または当センターホームページで参加申込書をダウンロードして、必要事項を記入のうえ、FAX又は郵送でお申し込みください。

●応募締切

上である人。



愛知県障害者スポーツ振興センターだより

障害者スポーツ振興センターだより 愛知県障害者スポーツ大会を開催しました！



■ボウリング



■サウンドテーブルテニス



■陸上



■フライングディスク



■水泳



■卓球



■陸上・フライングディスク開会式



■水泳・卓球開会式

令和5年度愛知県障害者スポーツ大会は、4月15日（土）のボウリング競技を皮切りに、サウンドテーブルテニス競技、陸上・フライングディスク競技、水泳・卓球競技をそれぞれ開催しました。この大会は、障害者スポーツの一層の発展を図るとともに、社会の障害者に対する理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として、毎年開催しています。

令和2年度、令和3年度の大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部の競技において中止を余儀なくされました。昨年の令和4年度の大会は、感染防止対策をとったうえで、無事に開催することができました。

今年度についても、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策を取ったうえで（5月8日の5類移行後は、体温管理等は個人の判断に委ねるよう緩和）開催し、愛知県障害者スポーツ指導者協議会、企業、各市社会福祉協議会、学生などボランティアの皆様のご協力をいただき、全競技を開催することができました。

大会には、県内各地から700人を超える選手が参加し、各競技では日々の練習の成果を存分に發揮し、明るくはつらつとプレーしている選手の姿がみられました。

また、一部競技においては特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の選手選考会も同時に開催され、全国の舞台での活躍を目指す選手が、大会出場に向け、熱戦を繰り広げました。

大会開会式にご臨席いただきましたご来賓の皆様、そして大会開催を支えてくださったボランティアの皆様、多くの温かい声援とそれに応えた選手の全力プレーに心から感謝いたします。来年度も皆様のご参加をお待ちしております。

令和5年度愛知県障害者スポーツ大会
(※は特別全国障害者スポーツ大会選考会同時開催)

競技名	開催日	会 場
※ボウリング	4月15日(土)	星が丘ボウル
※卓球 (サウンドテーブルテニス)	4月30日(日)	岡崎市こども発達センターホール
陸上・フライングディスク	5月20日(土) 5月21日(日)	豊田市運動公園陸上競技場
※水泳・卓球 (一般卓球)	5月27日(土)	安城市スポーツセンター(水泳) 東洋アリーナ安城(卓球)



愛知県共同募金会だより

みなさまのご協力が地域の福祉を支えます

令和4年度共同募金実績額

815,659,272円

一般募金 669,426,728円 歳末募金146,232,544円

昨年度の共同募金運動につきましては、県民の皆様方のあたたかいご理解のもと、多額のご協力をいただき誠にありがとうございました。お寄せいただいた寄付金に、繰越金233,182,797円と平成30年度災害等準備金取崩金25,000,000円を加え、総額1,073,842,069円を次のように配分いたしました。

寄付金はこのように活かされています

令和4年度 あいちの赤い羽根募金の活用状況



大規模災害に対応するために

24,000,000円(2%)

- 災害ボランティア活動支援
- 福祉施設の復興支援 など



共同募金運動推進のために

119,320,732円(11%)

- 募金活動の資材購入 など

障害のある方のために

131,336,965円(12%)

- 障害者スポーツ交流大会の開催
- 福祉車両の購入及び貸出事業 など

高齢者のために

145,592,229円(14%)

- 一人暮らし高齢者等への食事サービスの提供
- 車いすの貸出事業 など

共同募金の使いみちが調べられます。 <http://www.aichi-akaihane.or.jp>

地域の課題を抱える人のために

468,672,681円(44%)

- ボランティアの育成・研修会の開催
- 様々な福祉活動・相談事業
- 生活困窮世帯への食品支援事業 など



子どもたちのために

184,919,462円(17%)

- ひとり親世帯の子どもたちへ入学祝品贈呈
- 施設遊具の整備
- 子ども食堂への支援・学習支援 など

配分総額
1,073,842,069円

OKAYA チャリティーコンサート2023～感謝の夕べ～

岡谷鋼機株式会社では、令和5年7月26日（水）に、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、社会貢献活動の一環として、「OKAYA チャリティーコンサート 2023」が開催されました。コンサートの入場料収入全額と、同社からのマッチングギフト方式により愛知県共同募金会へ360万円をご寄付いただきました。お寄せいただいた寄付金は、地域の社会福祉向上のために役立たせていただきます。岡谷鋼機株式会社様をはじめ、ご来場の皆様、誠にありがとうございました。

「マッチングギフト」って？

企業などが社会貢献を目的として寄付を募る際、寄せられた金額に対して企業側が一定比率の額を上乗せして寄付することです。



■会場にて感謝状を贈呈
(写真左) 岡谷鋼機(株)プロジェクトリーダー田中様
(写真右) 愛知県共同募金会 川地常務理事

SELIP
Support of Employment, Living and Participation

全国からいろいろな「美味しい」や「楽しい」が集まりました。

全国ナイスハートバザール 2023 in あいち

同時開催 第42回 障害者作品即売会

福祉の店

愛知県内5会場で開催します!

販売コーナー
理器品・陶芸品・木工品などご用意しています。
日用品・加工食料・手芸品

愛知県セルブセンター 公式キャラクター 「あいちセルブくん」

Facebook・Instagramで一般社団法人愛知県セルブセンターの情報発信をご確認ください

会場：イオンモールナゴヤドーム前・セントラルコート
開会式 AM10:30～
徳川家康と服部半蔵忍者隊 AM11:00～

2023/10/17(火)→23(月)
10:00～19:00
イオンモールナゴヤドーム前
名古屋市東区矢田南四丁目102番3号

2023/10/25(水)→27(金)
9:30～19:00
金山総合駅 コンコース 特設会場
名古屋市中区金山1丁目1905

2023/10/26(木)→31(火)
10:00～19:00
西尾おしろタウンシャオ
西尾市下町御城下23番地1

2023/11/2(水)→8(火)
9:30～19:00
イオン豊橋南店
豊橋市野依町字落合1-12

2023/11/8(水)→10(金)
10:00～19:00
名鉄百貨店一宮店
一宮市新生1-1-1

第37回ふれあい フォトコンクール作品募集!

毎年県内外から多くの方々に応募をいただいている「ふれあいフォトコンクール」を今年も開催します。

優秀作品には賞金・表彰状等が贈られます。また、本誌「あいちのふくし」の表紙などに使わせていただきます。

プリント部門・WEB部門がありますので、スマートフォンなどからもお気軽にご応募ください!

応募方法等は、愛知県社会福祉協議会総務部にお問い合わせください。本会ホームページをご覧ください。

電話番号 (052)212-5500
ホームページアドレス <https://www.aichi-fukushi.or.jp/>

第37回ふれあいフォトコンクール
最優秀賞作品「弟の成長」(野村政明さん撮影)

あ　い　ち　ふ　く　し

あんしんして いきいきと ちいきで ふつうに くらせる しゃかい

ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金等にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていくよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご寄付いただいた方 (令和4年9月～令和5年6月)

株式会社セブンイレブン・ジャパン 様…… (東京都)	中村 教子 様…… (名古屋市)
イレブン会 様…… (長久手市)	鳳凰敦 様…… (大分県)
はなのき会 様…… (長久手市)	匿名 様
一般財団法人荒川磯慈善会 様…… (長久手市)	

[9件 ご寄附順]

令和6年版 「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」ただいま申込受付中!!

県内すべての社会福祉施設名簿を収録!! (除:保育所)

ご購入希望の方は、送付先住所・氏名・電話番号・希望冊数を記入の上、県社協総務部までFAX・郵送でお申し込みください。本会ホームページから、申込書をダウンロードしていただくこともできます。

価 格 1冊700円(税込)

体 裁 大きさ: 縦140ミリ×横85ミリ 表紙: ビニール製

主な内容 2024年・2025年カレンダー、月間予定表、週間予定表(2023年12月～2025年3月まで)
住所録、年齢早見表
資料編(A): 関係法令、各種福祉手当・貸付制度の概要
資料編(B): <別冊仕様>
各種相談所、紹介所、社会福祉施設、関係団体、県・市区町村役場及び社会福祉協議会住所等一覧、健康10か条(がんを防ぐための新12か条等)

送 料 10冊以上は無料。ただし9冊未満は申込者負担(1冊250円、2冊390円、3～9冊450円)

支 払 方法 請求書を同封しますので、ATMでお振込みください。

申 込 先 県社協総務部 FAX 052-212-5501 納品 11月下旬より随时発送

写真は2023年版です